

菅谷明子 講演会

米国メディア激変に見る社会に不可欠な情報とは



在米ジャーナリストの菅谷明子氏に、ソーシャルメディアで大きく変化する米国メディアの「今」をご報告いただきます。そこから何を教訓として得られるのか、そして日本のメディア、市民、ひいては図書館ができる事は何かを、みなさんと一緒に考えたいと思います。

独立した情報の価値や、事後報告をメインとしたニュースだけでなく、社会に点在する課題を浮き彫りにし、問題提起する調査報道の必要性、根付く非営利の報道組織、ジャーナリズムの人材育成など様々な事例についても見ていきます。

さらに、メディアや情報の特性を理解し、吟味したうえで情報を受け取り、社会的に意義ある情報発信を行うメディアリテラシーの高い市民をどう育てていくのか。米国の「国語」(読書や作文)教育における多角的思考や共感能力を育む学びにも触れながら考えていきます。

講師

菅谷 明子 (すがや あきこ)

在米ジャーナリスト、ハーバード大学ニーマンジャーナリズム財団役員。米ニュース雑誌『Newsweek』日本版スタッフ、経済産業研究所『RIETI』研究員等を経て、2011年～12年、ハーバード大学ニーマンフェロー(特別研究員)としてソーシャルメディア時代のジャーナリズムを研究、2014年から役員。ニューヨーク・コロンビア大学大学院修士課程修了、東京大学大学院博士課程満期退学。主著に『メディア・リテラシー』『未来をつくる図書館』(共に岩波新書)。

開催概要

- 日時：2015年7月8日(水) 19:00～21:00 (受付 18:30～)
 - 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：200名/(申込順)
 - 参加費：1000円/学生無料 ※学生の方は当日受付で学生証をご提示ください
 - 申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて
- ① 講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。